

こんにちは

市教組です!

春休みになりましたね。
少しはゆっくり過ごされて
いますか。
この一年間、いかがでしたか。

あなたはこんな思いをしていませんか?

大阪では、退職金が半額になる
という話も出ているみたい…。
年金もいろいろ問題になっている
ようだし…この後、いったいどう
なるの…!?

最近、ちょっと体調が悪いな…。
でも、病院へ行く時間が、
なかなかとれないな…。

あの子、最近元気がないな。
あの子、最近、忘れ物が多いな。
子どもとゆっくり話をする
時間が欲しいな。

もっと楽しくて分かる授業をしたいな。
でも、あの書類やこのアンケートの
しめ切りがせまっているし…。
教材研究の時間がとれないよ。

成績処理や通知表や指導要録は、
いつしたらいいの?
持ち帰りができないから残業かな…。
それとも、休日出勤かな…。

最近、自分の時間や家族との
時間がとれていないな…。
何のために働いているのだろう…。
何とかならないかな。

「何とかできます!

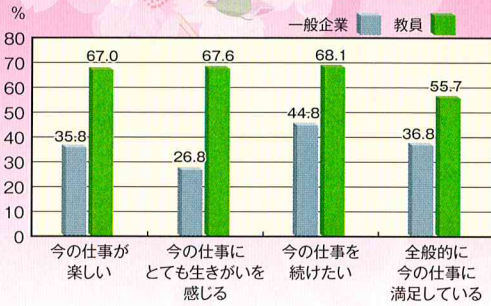
こんな思いを声にして、みんなで変えていきましょう。」

※同封のアンケートハガキにあなたの声を是非お書きください。

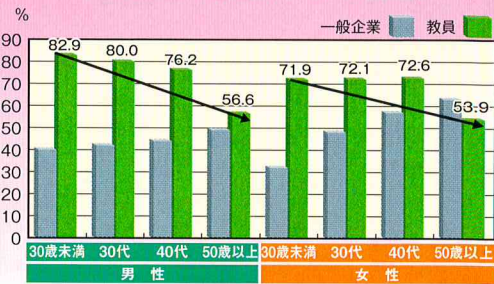
ずっと生き生きと働きたい

※日本教職員組合が、2010年度に(財)国際経済労働研究所と共同で行った調査。
全国の一般企業の従業員と教職員を比較したもの。

極めて高い教職員の働く意欲



年齢とともに低下する意欲



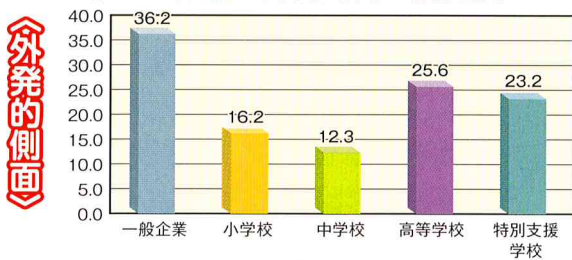
しかし

無理をしすぎて燃えつきに

Q なぜ意欲が低下するの?

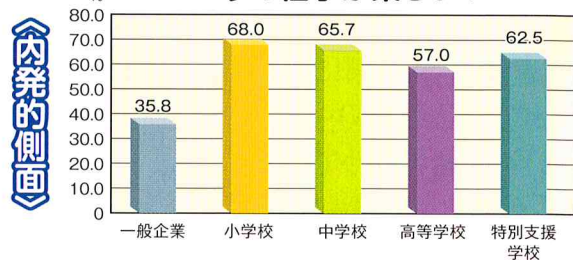
A1 働きがいのバランス (外発的側面と内発的側面) の偏り

外発的側面



休暇や労働時間の満足度は極めて低く、不満がたまっている。

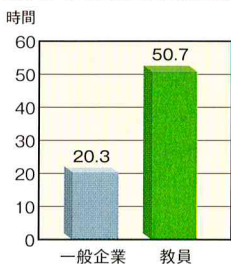
内発的側面



内からわきおこる仕事の楽しさは極めて高い。

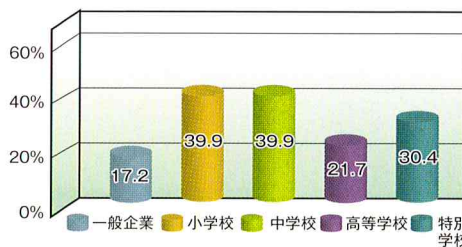
A2 過重労働によるストレス

1カ月の超過勤務時間

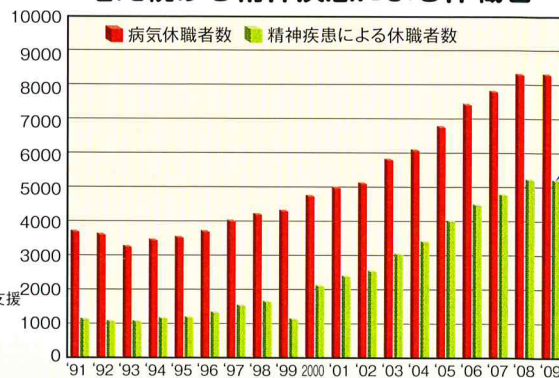


一般企業の2.5倍
超過労働時間は
50時間を超えている

仕事が忙しいので睡眠時間を削っている



増え続ける精神疾患による休職者



病気休職者のうち63%が精神疾患者

17年連続増!

こうした過重労働からストレスをかかえる教職員が多い。
2010年度熊本県の教職員の休職者に占める精神疾患による休職者は79%

どうすればいいの?

➡ **職務自律性を高める**… 理想とする教育や授業、学級経営が実践できるようにする。
子どもの声・教職員の声が生かされた学校に。

➡ **過重労働をなくす**… 休暇や労働時間などの労働条件を改善する。
職場の協力・協働、語り合い支え合う体制づくり。
ワーク・ライフ・バランスの実現



～教職員が心身ともに健康であることが、子どもたちのゆたかな学びを保障することにつながります～